

資質の高い教員養成推進プログラム (共同教育プロジェクト)



教員養成メンタリング・システムの開発～幼稚園教員養成・教員研修の融合～
TSC 東京学芸大学・白梅学園大学

目的

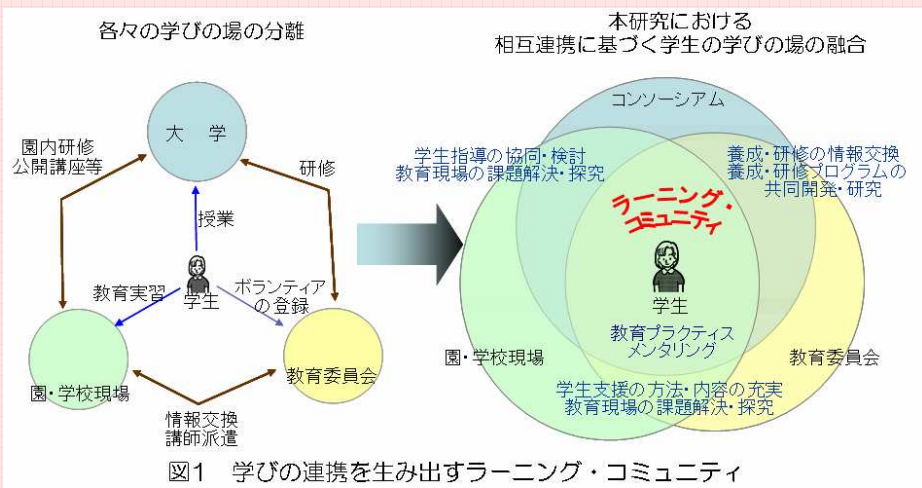
東京学芸大学と白梅学園大学コンソーシアム (TSC: Tokyo Gakugei University and Shiraume Gakuen University Consortium) がメンタリング・プロジェクト運営機構を設置し、東京都公立幼稚園・小学校、区教育委員会からなるラーニング・コミュニティを形成し、学生が長期的に教育の今日的課題に関して実践・探求するプログラムを実施する。

メンタリングとは

- 経験を積んだ専門家が新参の専門家の自立を見守り、援助すること。先輩教員が初任期の教員に、あるいは担任が教育実習生に対して行う指導・助言のコミュニケーション過程。
- 助言にあたる先輩をメンターと呼ぶ。
このメンタリングの機能は、近年、専門家の成長にとって重要な意味をもつものとして、各種専門家の教育の分野で注目されてきている。

教育プロジェクトの特色

1. 新しいラーニング・コミュニティをつくる協同プロジェクト

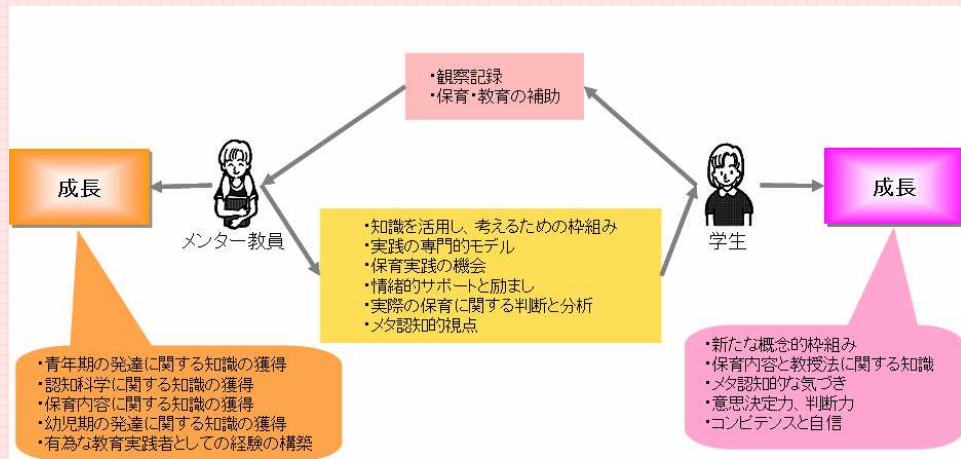


このシンボルマークは、メンターとメンティーの積極的な対話を通じて実践されるメンタリングの理想像をイメージしたものです。メンタリングの頭文字「M」を造形的なモチーフにして、ベテランと新米の保育者がお互いに支えあいながら、大きく手を広げて成長していく姿を表現しました。横に貫くブルーの一本線は、メンターの豊かな経験と指導がもたらすメンティーの学びと継承を意味し、それらを担っていく本プロジェクトの創造的な活動を象徴しています。また、二人の顔に当たる黄色の玉は、そうしたメンタリングを通じて生まれる「発見・気づき」を表すとともに、「学びの創造」に向けた期待感でもあります。

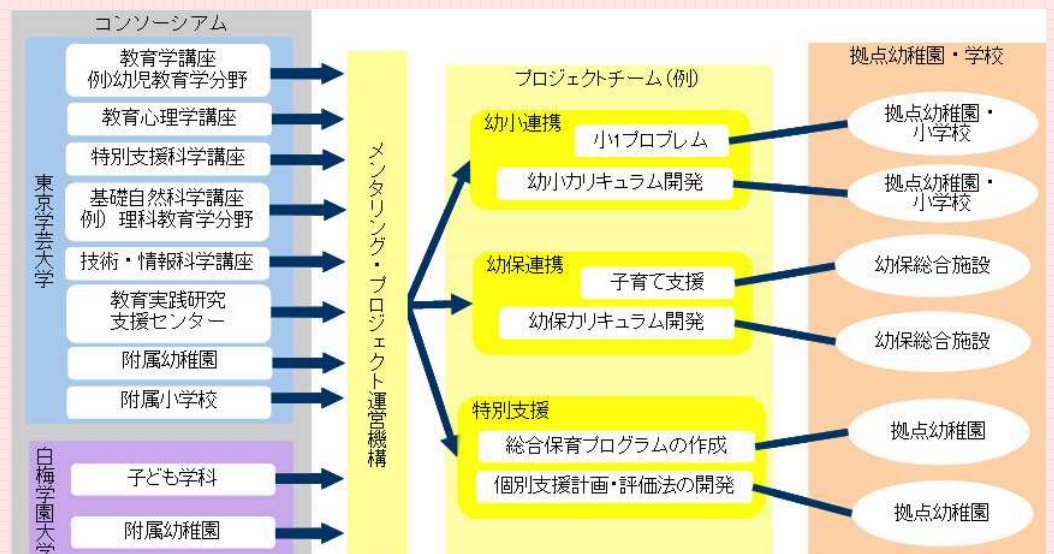
教育プロジェクトの特色

2. 本プロジェクトの内容①

- 長期にわたる教育プラクティスとメンタリングを通しての学生の学び



- 複合分野のプロジェクトチームによる今日的課題への対処・協同的問題解決



教育プロジェクトの特色

2. 本プロジェクトの内容②

●メンタリング・プロジェクト運営機構における大学教員の役割

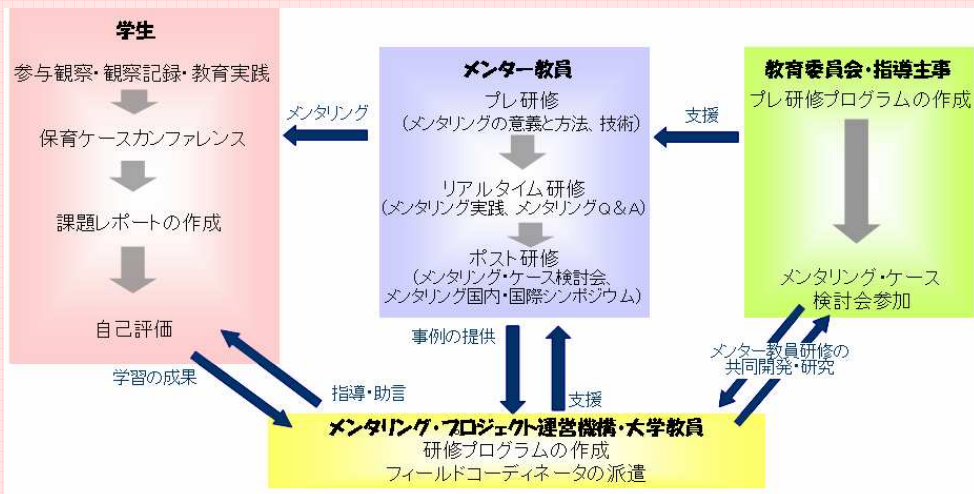


図4 メンタリング・システムにおける支援・省察

●保育実践ドキュメンテーション及び保育実践研究のデータベース化

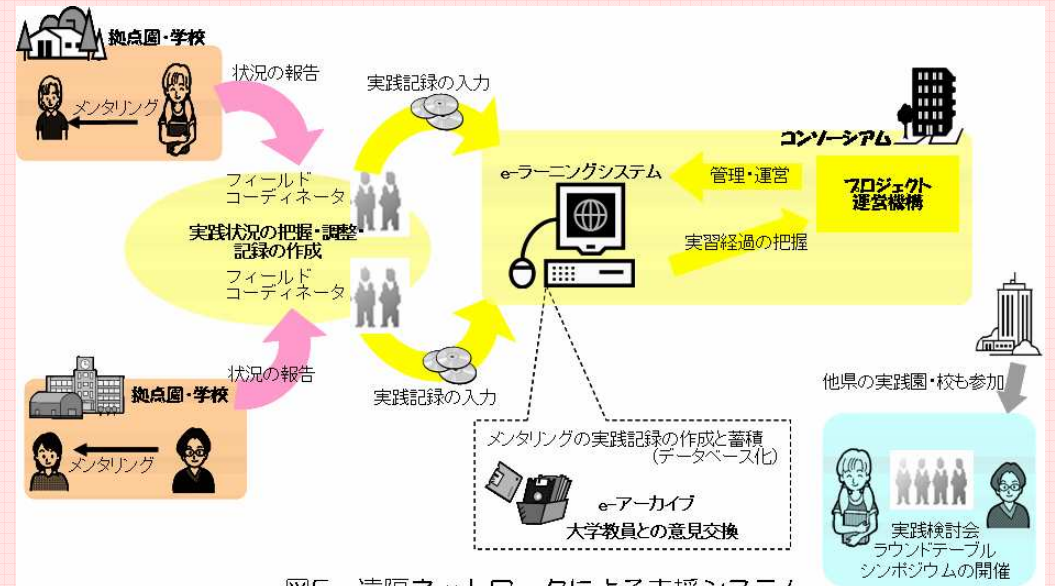


図5 遠隔ネットワークによる支援システム

プロジェクトの有効性

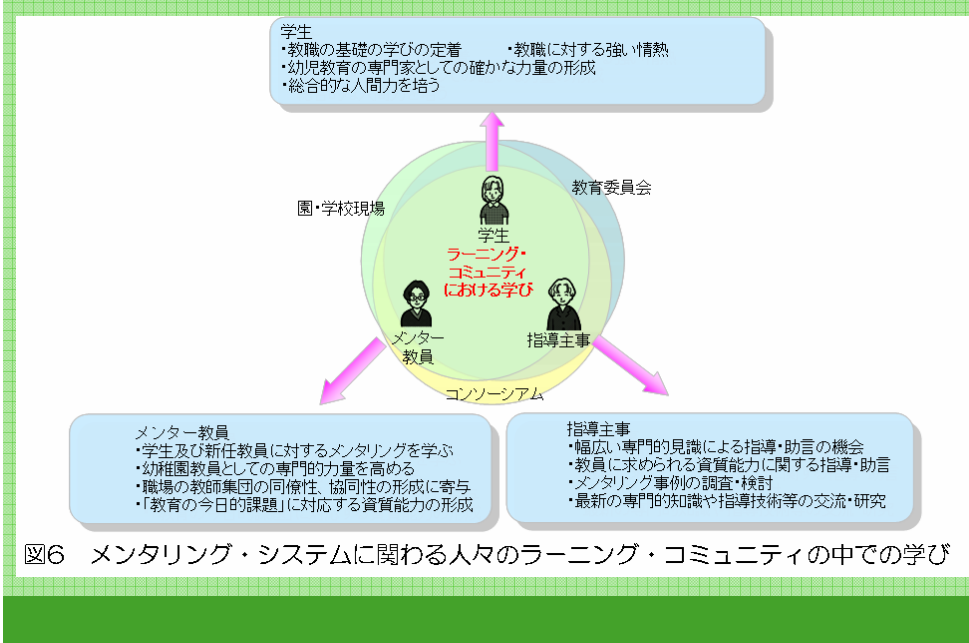


図6 メンタリング・システムに関わる人々のラーニング・コミュニティの中での学び

プロジェクトの評価体制

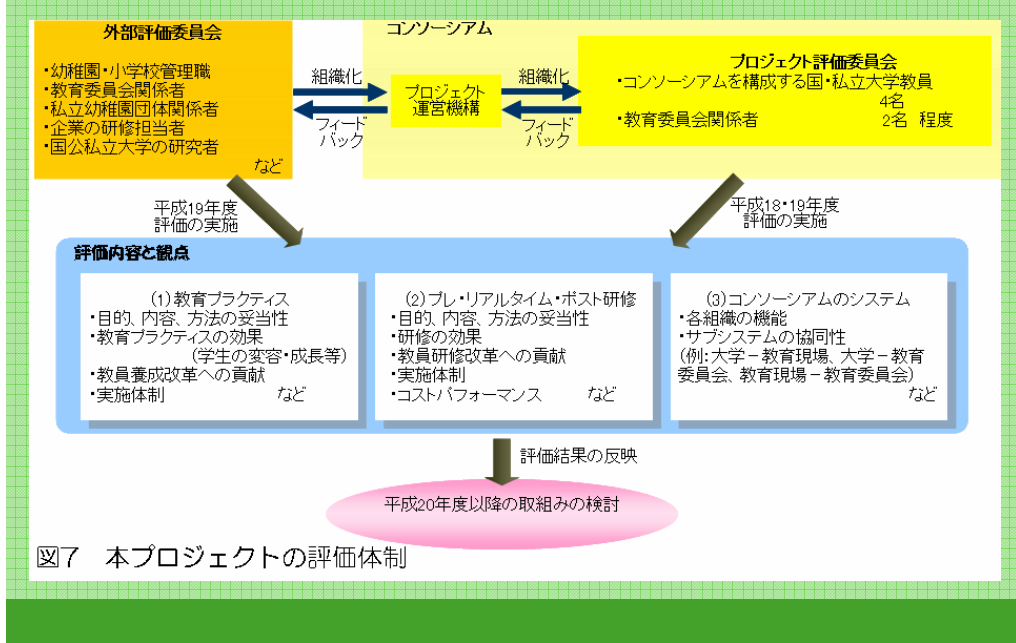


図7 本プロジェクトの評価体制

現在までの進行状況

	プロジェクト運営機構	学生・幼稚園・教育委員会
2006年度 7月	第1回メンタリング研究会 テキスト「A Better Beginning: Supporting and Mentoring New Teachers」 (Marge Scherer, 1999)	
9月	プロジェクト運営機構設置 第1回プロジェクト運営機構会議 ワーキンググループ (教育プラクティス、研修、ネットワーク、広報等) 設置 広報パンフレット (暫定) 作成 発達心理学会 (2007年3月) の自主シンポジウム申請 日本保育学会 (2007年5月) の自主シンポジウム申請 プレ研修のプログラム作成 メンタリング・ブック作成 教育プラクティスのプログラム開発	新宿区教育委員会・杉並区教育委員会との連絡協議会 杉並区協力園、メンターの選出 教育プラクティス参加学生の選出
10月	第2回メンタリング研究会 テキスト「Teacher Mentoring And Induction: The State Of The Art And Beyond」 (Hal Portner, 2005) 第2回プロジェクト運営機構会議 フィールドコーディネータ取扱要項の作成 フィールドコーディネータ公募 メンタリングプロジェクトのHP作成 e-ラーニングシステム、e-アーカイブ構築に関する検討会 広報パンフレット、シンボルマーク作成	杉並区立幼稚園への説明会 杉並区プレ研修 教育プラクティスに関する学生オリエンテーション 杉並区立幼稚園にて教育プラクティス開始 新宿区協力園、メンターの選出
11月		新宿区プレ研修 新宿区立幼稚園にて教育プラクティス開始予定 (11月中旬)